



# とねまち 議会だより

## あなたと議会を結ぶ広報誌



『 庁舎遠望 』

光龍会 小久貫 進 氏 作

### 9月定例会

No. 132  
2015. 11. 6

平成27年第3回定例会	
平成26年度決算認定（一般会計・特別会計）	2
平成27年第3回議会定例会の議決等結果	3
平成27年第3回議会定例会 議案概要	4
地方創生特別委員会設置	5
決算審査特別委員会	6
町政のここが聞きたい（一般質問）	7
議員視察研修～美浦村議会傍聴～	11
議会日誌（平成27年7・8・9月）	12
お知らせ	

## 第3回定例会

平成27年第3回定例会は、9月1日から11日までの会期日程で開催されました。

今回の定例会では、報告1件のほか、条例（改正）3件、補正予算7件、決算の認定7件、その他2件の議案が町長から提出され、11日の最終日には議員から決議1件が追加議案として提出され各案件とも慎重に審議されました。

## 平成26年度歳入歳出決算

(単位：円)

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		5,918,948,964	5,387,647,156	531,301,808
特 別 会 計	国民健康保険（事業）	2,628,175,966	2,514,363,255	113,812,711
	国民健康保険（施設）	153,739,321	124,807,692	28,931,629
	公共下水道事業	252,134,562	241,562,421	10,572,141
	町営霊園事業	12,518,445	7,638,534	4,879,911
	介護保険	1,354,924,716	1,329,643,246	25,281,470
	介護サービス事業	9,195,403	7,943,792	1,251,611
	後期高齢者医療	331,357,702	330,511,877	845,825
合 計		10,660,995,079	9,944,117,973	716,877,106

## 一般会計歳出の状況（性質別）

(単位：千円，%)

	26年度決算額	構 成 比
人 件 費	1,313,939	24.4
うち職員給	881,108	16.4
物 件 費	629,642	11.7
維持補修費	51,387	0.9
扶助費等	776,823	14.4
補助費等	843,886	15.7
普通建設事業費	369,410	6.9
災害復旧事業費	58,428	1.1
公 債 費	427,214	7.9
積 立 金	341,020	6.3
投資・出資金・貸付金	17,000	0.3
繰 出 金	558,898	10.4
合 計	5,387,647	100.0



# 平成27年第3回 議会定例会の議決等結果

会 期 平成27年9月1日（火）～平成27年9月11日（金）

審議議案 町長提出議案19件 議員提出議案1件

## 【町長提出議案】

議案番号	件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別												
			賛 成	反 対	石 井	新 井 （ 滄）	石 山	花 嶋	新 井 （ 邦）	船 川	坂 本	高 橋	今 井	若 泉	五 十 嵐	井 原	
議 案 第33号	利根町個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第34号	利根町手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第35号	利根町いじめ問題対策連絡協議会等条例	原案可決	10	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
議 案 第36号	平成27年度利根町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第37号	平成27年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第38号	平成27年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第39号	平成27年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第40号	平成27年度利根町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第41号	平成27年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第42号	平成27年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第43号	工事請負契約の締結について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第44号	平成26年度利根町一般会計歳入歳出決算認定の件	認 定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第45号	平成26年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	認 定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第46号	平成26年度利根町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認 定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第47号	平成26年度利根町営霊園事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認 定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第48号	平成26年度利根町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	認 定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別												
			賛成	反対	石井	新井(滄)	石山	花嶋	新井(邦)	船川	坂本	高橋	今井	若泉	五十嵐	井原	
議案第49号	平成26年度利根町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第50号	平成26年度利根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

【議員提出議案】

議案第1号	地方創生特別委員会設置に関する決議	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」は賛成、「×」は反対を表します。

## 平成27年第3回 議会定例会 議案概要

【町長提出議案】

- 利根町個人情報保護条例の一部を改正する条例** ……………【可決】  
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定に伴い改めるもの。
- 利根町手数料徴収条例の一部を改正する条例** ……………【可決】  
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号カードなどの再交付に係る手数料を徴収するため条例を改めるもの。
- 利根町いじめ問題対策連絡協議会等条例** ……………【可決】  
いじめ防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、対処、早期解決を行う組織を設置するもの。
- 平成27年度利根町一般会計補正予算（第2号）** ……………【可決】  
予算額に、歳入歳出それぞれ2億1734万1千円を減額し、総額を62億688万3千円とするもの。
- 平成27年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）** ……………【可決】  
事業勘定の予算額に歳入歳出それぞれ1億578万8千円を追加し、総額を28億3438万4千円とするもの。施設勘定の予算額に歳入歳出それぞれ1698万2千円を追加し総額を1億2529万3千円とするもの。
- 平成27年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）** ……………【可決】  
予算額に歳入歳出それぞれ953万8千円を追加し、総額を2億7560万6千円とするもの。
- 平成27年度利根町営霊園事業特別会計補正予算（第1号）** ……………【可決】  
予算額に歳入歳出それぞれ487万9千円を追加し、総額を1039万4千円とするもの。
- 平成27年度利根町介護保険特別会計補正予算（第1号）** ……………【可決】  
予算額にそれぞれ2688万4千円を追加し、総額を13億7897万9千円とするもの。

- 平成27年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号） ……【可 決】  
 予算額に歳入歳出それぞれ125万1千円を追加し、総額を993万6千円とするもの。
- 平成27年度利根町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ……【可 決】  
 予算額に歳入歳出それぞれ84万5千円を追加し、総額を3億3162万8千円とするもの。
- 工事請負契約の締結について ……【可 決】  
 利根中学校屋内運動場及び武道場天井落下防止工事の契約について
- 人権擁護委員候補者の推薦について ……【適 任】  
 人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を聞くためもの。

**【議員提出議案】**

- 地方創生特別委員会設置に関する決議 ……【可 決】


## 地方創生特別委員会を設置しました

平成26年11月の臨時国会において、「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。この法律は、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたり活力ある日本社会を維持していくことを目的としています。

これを受け、地方自治体では地域の特性を踏まえ平成27年度中に「人口ビジョン」と「地方総合戦略」の策定に努めることが求められました。本町においても「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、現在その策定に向け取り組んでいます。

利根町議会はこれらの動きに対し、総合戦略の重要性を強く認識するとともに、総合戦略の策定・効果検証や諸施策の推進などにおいて主体的に関与していくことが必要であり、利根町が将来にわたり魅力的で活力に溢れ、「誰もが安心して豊かに生活できる元気なまち」として持続していけるよう、地方創生の諸施策に関する調査研究などを目的とした「地方創生特別委員会」を設置しました。

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◎委員長 新井 邦弘</li> <li>委員 若泉 昌寿</li> <li>委員 花嶋美清雄</li> <li>委員 石井公一郎</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○副委員長 石山 肖子</li> <li>委員 船川 京子</li> <li>委員 新井 滄吉</li> </ul> |
|--|---|



人事  
案件

▼ 人権擁護委員候補者の推薦について（諮問）

いとう ゆきこ  
**伊藤 幸子**

◎人権擁護委員

市町村長が推薦した方の中から法務大臣が委嘱します。  
 人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済のほか、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。  
 無報酬ですが、現在、約14,000人が法務大臣から委嘱され、全国の各市町村に配置されています。（利根町は3人の方が人権擁護委員として活躍しています）

## 決算審査特別委員会



平成26年度の決算審査は、決算審査特別委員会を設置し9月2日、3日、4日の3日間にわたって慎重に審議され、その後本定例会の本会議最終日に、委員長から以下のとおり委員会審査の報告があった。

◆本会議での質疑・討論はなく、採決の結果、全員賛成で認定された。

委員長 五十嵐 辰雄

### 【審査結果】

平成26年度利根町一般会計並びに6つの特別会計（国民健康保険、公共下水道事業、霊園事業、介護保険、介護サービス事業、後期高齢者医療）決算について、慎重審議の結果そのすべての議案を全員賛成で原案を認定するものと決定した。

一般会計は歳入59億1894万8964円、歳出53億8764万7156円、歳入歳出差引残額5億3130万1808円である。

財政状況を判断する財政力指数は0.43で町税等の収入で賄えるかを示す指数で1.0を上回れば不交付団体となる。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は92.4%で依然として90%を超え高い数値を示している。財政が硬直化している状況で、今後とも引き続き経常経費の抑制に努める必要がある。

決算審査には、主要施策の成果説明書、決算カード、教育委員会事務の点検評価報告書を参照し、予算執行が適正に効率的に行われたか、収入が適正に確保されたかを審査した。

次に国民健康保険特別会計については、年度末被保険者数、6188人、年度末世帯数3545世帯である。国保に加入している被保険者に対し、法定の医療費を給付した額は14億1969万4908円で、前年度より、1366万6430円の増である。

医療費の増加を抑制しながら安心して医療を受けられる制度設計が必要である。

その他の特別会計についても、前述記載のとおり審査をした。

以上、各事業ごとに、決算審査の結果に基づき費用対効果を検証し、住民福祉の向上に寄与する。次年度予算編成を行うよう要請する。



▲委員会の様子

**問** 介護予防、ボランティア活動について

**答** ボランティア活動の支援を継続する

今井利和議員

- 問** ①フリフリ運動、シルバーリハビリ体操の指導者の養成、増員は。  
②理学療法士、音楽療法士の受講時間増は。  
③ボランティアが運営する受講者の保険は。  
④福ちゃん号の朝の便を2台の車で、各右・左廻りとし時間を短縮しては。  
⑤浴室での蛇口の増設は。

- 答** ①フリフリ運動は、筑波大学から体操講師を招き今後も継続していく。ボランティアの方々を募集し増員を図る。今後もシルバーリハビリ体操指導士養成講座を開催し、指導士確保と増員を図る。  
②理学療法士、音楽療法士、重症化予防のために内容を見直し今後も進める。  
③保健福祉センターの事業は、入場者傷害保険で対応し、ボランティアが運営する教室の参加者は、総合賠償責任保険で対応。  
④福ちゃん号は、利用が増える見込みの時は別立ての方法で現在も対応している。

利用者の増加を図り、増車、増便に努力。  
⑤水圧の関係で、シャワーは1台しかつけられない。

**問** 特定健康診査、特定保健指導が行われているが積極的支援者の人数、指導は。

**答** 平成24年度対象者91名、25年度86名、26年度67名、前年度から19名の減少、健康増進事業の成果、指導は5回目として、6ヶ月後に面接による支援を行い終了となる。平成24年度から減少している。

**問** 蛟蛸神社（奥の宮、門の宮）の文化財保護についての考えをお聞きます。

**答** 文化財は政府、地方公共団体は「その保存が適切に行われるよう努める」とされており、利根町文化財保護条例等により、文化財の保護を図っていく。

**問** 今後大学と連携が難しくなるが町長は

**答** 町民と更なる交流が進むよう望む

高橋一男議員

**問** 大学の理事長と町長で無償提供について以前話し合ったと聞かすが、無償提供に反対的な発言する議員に対し、あなたは遠山派か、と大きな声で怒鳴った。そこで以前、公式、非公式を問わず、どこで何をどういう話をされたか。

**答** 大学の入学式後に、理事長から突然土地を無償提供して欲しい話があった。突然なのでその時は何も返事はしません。この件で理事長と話し合ったのは一度だけ。

**問** ジャパン総研が大学生に聞き取り調査を求め、大学事務長に調査実施の許可を頂くが、理事長に制止され、聞き取りを望む場合は、学生一人当たり10万円の支払を条件に提示された。また、町長の行政手腕の評価について、町長選に向け学園側から立候補予定についてなど、理事長独自の私見に基づく持論を展開、理由として、

心情的に現職町長が在任の間は、町へ一切の協力をしたくない意向である事など、今後、連携が非常に難しくなると思うが、町長はどう進める考えか。

**答** 議員ご指摘の件は大変遺憾とと思っている。今後も大学との連携事業が継続し町民の方々と更なる交流が進むよう望む。

**問** ニュータウン前の企業所有地を農業法人と売買される。今後は農業法人が、6次産業化を目指し、旧東文間小学校跡地を活用すると聞かすが、進捗状況は。

**答** 農業法人から6次産業化の展開にあたり旧東文間小学校跡地を農産物の一時加工場として活用したい旨、事業計画が提出され、町と農業法人との間で協議、調整中である。

**問** 利根町男女共同参画推進条例制定の考えは

**答** 条例の制定に向け調査研究を進める

船川京子議員

**問** 利根町男女共同参画推進プランの事業内容の中で、町政への女性参画促進を目指し、女性人材バンクの開設をあげられているがその進捗状況を伺う。

**答** 設置する自治体の事例を参考にするなど、その開設に向け調査、検討していく。

**問** 各公共施設に高齢者の方が、より気軽に足を運ぶためには、手すりの設置やトイレリフォーム等、施設整備の必要性を感じるところがある。関連し、トイレにおむつの交換台やベビーチェア、オストメイト対応型などの設置も含め、施設整備に対する町のお考えを伺う。

**答** 高齢者向けトイレリフォームを行うなどの施設整備に今後も努めていく。トイレの改修等を予定している施設もあるので、おむつの交換台などの設備をつけられ

るか検討していく。また庁舎外の内宿に面した階段には手すりがないので設置を検討していく。

**問** 誰でも自由におむつ替えや授乳ができるスペースを愛称で「赤ちゃんの駅」と言う。またイベントが開かれた際、乳幼児を持つ親子に、気軽に安心して参加してもらうのをねらいとしている、貸出用の移動式授乳用テントを「移動式赤ちゃんの駅」と言う。これらの導入についてのお考えを伺う。

**答** まずは役場庁舎からおむつ替えや授乳等を行える共有スペースを設け、子育て家庭に優しい施設へと改修し、その他の公共施設においても整備を検討していく。「移動式赤ちゃんの駅」については、福祉機器等の貸し出し実績のある利根町社会福祉協議会とも協議の上、導入の検討をしていく。

**問** 若い世代の投票率向上を目指すには

**答** 良識ある主権者として意義を理解させる

新井邦弘議員

**問** 新たなステージ（主権者教育）と題し、将来の有権者である子供たちへの選挙教育を提唱している。選挙は民主政治の基盤をなすものであり、国民一人一人が政治や選挙に関心を持ち、政策を判断できる目を持ち自分の一票を進んで投票することをもって初めて達成でき、選挙に関する意識の向上を図っていくことが重要であると思います。若い世代の政治離れを食い止めるカギは、身近な町の政治に関心を持ってもらい、我々議員も町についての政策をとことん考え、日々の生活にかかわるものだと捉えるような政策をつくっていくかということが課題だと思います。若い世代を政治に巻き込むためには、行政として啓発の在り方、今後の方策についてどう考えるか。

**答** 啓発活動は、まさに主権者教育の実績を求めるものであり、政治意識向上に向けた主権者教育に努めてまいります。

**問** 防災行政無線運用細則によると放送の種類は、緊急放送、定時放送、臨時放送、に限られている。しかし、昨今、防犯の放送も必要ではないのか。現に通学路に変質者が出没したり、空き巣被害、振り込め詐欺、などの事件が町内においても起きています。子供を持つ保護者の方にはメールで情報は流れますが、お孫さんや子供がいない人には伝わりません。日頃、町長が安心、安全なまちづくりを提唱しているので防犯を含めた今後の防災無線のありかたについて考えをお聞きしたい。

**答** 放送の可否については、管理責任者である総務課長が緊急性及び人命に係る重要性を判断し、放送を行っている。今後は検討し緊急放送の中に該当するものと考えている。



**問** ウェルネス大学に無償で土地の提供は

**答** 無償提供は住民の理解を得られない

**石井 公一郎 議員**

**問** 日本ウェルネス大学と議会議員で町活性化と大学発展のための協働についての会議があった。会議の冒頭、柴岡理事長から議員代表の副議長へ贈呈式（高価なお土産）があった。お土産つきの会議には非常に驚いたし、贈呈式の意味がわからない。

町とタイケン学園とは公有財産賃貸借契約を締結、貸付期間30年、貸付料年額約900万円、土地は旧利根中、旧布川小、グラウンド約37000㎡である。理事長からはこの土地を無償提供してくれとのことである。町は税収が減少しており約900万円は重要な財源であり土地の無償提供とは何を考えているのか、町長はウェルネス大学との関係についてどう考えているか、お伺いいたします。

**答** 開校してから3年の状況から無償提供は到底、理解が得られない。大学との関係は今まで以上に連携、協調していく。

**問** 町の歴史を接点とした住民との協働は

**答** 「まちづくりガイドライン」に沿う

**石山 肖子 議員**

**問** 利根町の歴史的財産である文化財や伝統文化の保存の取り組みは。

**答** 利根町の指定文化財は、国指定1・県指定1・町指定30件であり、指定外の埋蔵文化財25箇所についても年に2回県と合同で巡回・調査を行っている。利根地固め唄の継承については、保存会による会員増加努力と継承活動が展開されており、国際交流イベントや町制施行60周年イベント等での公演を予定している。

**問** 歴史民俗資料館で所蔵している歴史的文化遺産のなかで、劣化が予想される古文書3万点について、後世に残すためのデジタルデータ化の動きはあるのか。

**問** 茨城県が前年度に実施した学力テストの結果について。

**答** 県の平均には届いていない。学校で危機感を持って教育に当たっていきたい。

**問** 利根町の成人式典を見直す考えは。

**答** 社会人としてのスタートを自覚する機会の一つとして、地域への愛着と理解を深めるよい機会となるよう配慮する。

**問** 役場職員の道路、公園等の草刈りについて。

**答** 草刈り時にけがをし公務災害と認定された職員は3名。職員数は、この10年間で20名減。平成28年度以降の行政改革行動計画を策定するにあたり職員による除草作業の範囲を検討する。

**答** 赤松宗旦関係の寄託資料などは一時お預かりしているもので、いずれは返却する必要がある。来年度以降のデータベース化実施を関係機関と協議したい。

**問** 歴史民俗資料館の赤松宗旦・企画展開催や、鎌倉街道の整備活動のように、歴史を接点に住民がまちづくりに参画する例がみられる。町への愛着を持って持続的なまちづくりに寄与しようとしている方々の活動を、町はどのようにコーディネートしていくか。

**答** 住民協働事業の指針である「まちづくりガイドライン」に沿い、文化遺産・自然遺産を媒介とした協働事業のコーディネートを進めていく。

# 一般質問 町政のここが聞きたい

**問** 地方創生について

**答** 協議会等に意見等を求め総合戦略策定中 **新井 滄吉 議員**

**問** 福島県を除く全国1799市町村のうち、半分以上を超える896市町村が消滅可能性があるとの日本創成会議の指摘に日本中がびっくり。しかし、この指摘には多くの識者が疑問を呈しています。2011年東北大震災以降の青年の農村回帰志向の動きを見ていない。人口1万人未満になると消滅するとの根拠が示されていない等。消滅市町村と掲示された地域が活性化している例もあり、東京への一極集中が日本沈没になりかねないとの正しい指摘もあり、日本創成会議等の文書を鵜呑みにするのではない、沈着冷静な対応が求められています。この地方創生はある意味、首都圏から利根町に若者・年金生活者を呼び込む他地域との熾烈な競争といえます。新住民を暖かく迎え入れる地域づくりの競争といえます。それ故行政任せ、議会任せでは利根町の生き残りは図れないでしょう。利根町民・利根行政・議会が3者一体となって取り組む総力

戦です。図書館等に町民が地方創生について考える図書等を整備する考え、各種資料をコピーする必要があるため、この際町のコピー料金を10円に下げること検討して欲しい。町民の地方創生の徹底討論を組織する必要があると考えるが行政はどのように考えているか。

**答** 地方創生の問題は町民一人一人が自分の問題として認識することは大変重要であると考えております。地方創生の利根町版総合戦略を策定中ですが、住民アンケート、パブコメ、利根町まち・ひと・しごと創生推進協議会、議会にも意見・提案を求め、総合戦略を策定し、具体的施策としてKPI(基本目標数値)を設定しこれを用いてPDCAサイクルを実現します。PDCA実現に際し、施策の効果検証を行い、必要に応じて総合戦略を改定していくというプロセスを実行します。

**問** 兼松の土地売買が決まったと言っているが

**答** 9月末または10月には正式に決まる **若泉 昌寿 議員**

**問** 利根ニュータウン前の土地(兼松所有)農業法人きずなと売買が決まったと町長は町民に対し話をしている。内容はきずなが野菜等を生産し加工して販売もする。また、旧東文間小学校も使うと言っていた。町民の方々からは私の所へ電話もかかってきた。直接聞きにきた方も多数いたが正式には決まったとは聞いていないので、はっきりと返事はできなかった。8月に26年度の決算の時はまだ決まっていないことを知った。なぜ町長は正式に決まっていないのに町民に知らせるのか、町民は困惑する。今後はやめてもらいたい。

**問** 兼松が持っている利根ニュータウン前22haの土地は、今年に入り1回も草刈りを行っていないので、草が2m以上伸びている。例年は必ず2回刈っていたが、今年は何度も刈っていないのはどのような理由があるのか。環境は良くないし、もしこのまま冬迎えた時は火災に対しても大変心配になる。

町の方からお願いし一日も早く刈ってくださることを望む。

**答** 現在測量を行っている区域内に杭が打ってあるので、大型草刈機が入れない。終わりしだい行うことになっている。

**答** 兼松ときずなの売買は整っている。残っている作業は4、5人の地権者との約束事をクリアすれば売買契約書が結ばれる。9月の末か10月になると思う。また、東文間小学校についても農業法人きずなが使ってくれることになる。



## 問 空家等対策特別措置法に基づく現状調査

答 各区長に空家調査を依頼し実態把握する

五十嵐 辰 雄 議員

**問** 空家対策特別措置法が平成27年5月に施行となり、近隣に悪影響を与える物件を特定空家として自治体で所有者に修繕勧告や撤去命令が出せるようになった。

命令に従わず改善しない場合、費用は所有者に請求できるようになった。空家法を運用するには、法律に基づき各住宅を踏査し緻密な調査が必要です。実態調査の結果を踏まえた対策をお尋ねします。

**答** 去る8月3日に開催した区長会による町長との懇談会に於て、空家対策を講ずる上で実態調査の必要性を説明し空家調査の協力依頼をいたしました。物件の調査票の作成を行っていただき、環境対策課で現地調査を平成27年度末までに終了させます。

調査結果について、データベースを構築し法律に基づく管理を行う考えです。

**問** 布川小・利根中の大規模改造事業の見込みは。平成27年度当初予算に計上したが、国庫補助が不採択となり己むを得ない結果となった。普通では事業計画段階で県教育委員会並びに文部科学省と連絡を取り、国庫補助採択の見込みを確認し予算を計上する。慌てて27年4月下旬に町長、教育長が文部科学省に陳情し、同時に県選出国會議員にも陳情したと聞き及んでいますが、事業の進め方をお尋ねします。

**答** 当初、補助事業の不採択であったが8月17日付で県教育委員会から国庫補助の内定通知がありました。布川小・利根中とも27年度第1期工事は、屋根改修・外壁改修、28年度第2期工事は教室改修・トイレ改修となります。なお、エアコン設置工事は当初予算に計上したとおり、実施します。現在、発注手続きを行っていますので、契約締結の予定です。

## 議員視察研修 美浦村議会傍聴

報告議員 新井 邦弘

期 日 平成27年9月18日

参加議員

井原議長

五十嵐副議長  
新井(邦)議員

若泉議員

船川議員

石山議員

花嶋議員

新井(滄)議員

視察場所

美浦村議会

視察目的

議会改革の一環として議会本会議及び諸会議の際にタブレット端末を活用し、完全ペーパーレス会議をいち早く実現している議会を視察することを目的とする。

感想

利根町議会に導入すべき利点としては、議員と職員との情報共有にタブレット端末を利用するため、紙資料を全て電子データ化していることにあります。あらかじめ資料を電子データ化しておくことで、外出先や現場などで必要な資料をすぐに確認することができます。さらには、議員が住民に活動報告をするとき、タブレット端末から写真や動画などでわかりやすく説明できるというメリットがあります。導入効果としては、紙資料の削減と印刷コストの節約、また、資料の変更や修正に対して効率的に管理でき、省資源など環境面でも貢献できるものと思われれます。

その他、美浦村議会議場では傍聴者用に可動式の大型ディスプレイを2台設置し、議案その他資料を会議の進行に合わせて表示することで、「わかりやすい議会」「開かれた議会」に向けて積極的な取り組みが進められていました。



# 利根町議会日誌

(平成27年7・8・9月)

活動内容	
7月	
1	県南町村議会議長会
3	平成27年度成田線活性化推進協議会定期総会
7	2015年原水爆禁止国民平和大行進茨城県実行委員会様来庁
8	平成27年度利根町老人大学
14	平成27年度霞ヶ浦常南流域下水道整備促進協議会総会
17	広報編集委員会
"	取手・守谷・利根地域医療協議会監査
21	竜ヶ崎工事事務所管内主要道路整備促進期成同盟会総会
22	古河駐屯地「納涼大会」
23	茨城県国民健康保険運営協議会長会平成27年度会長調査研究会（～24日）
24	平成27年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
25	白鷺の街自治会納涼大会
"	平成27年度羽根野台・早尾台合同夏祭り
29	平成27年第2回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会
30	平成27年第2回茨城県南水道企業団議会定例会
8月	
1	八幡台自治会納涼大会
"	第32回利根ニュータウン夏祭り

活動内容	
8月	
3	県南町村議会議長会
5	男女共同参画推進協議会会議
6	国民健康保険運営協議会
7	第66回利根川治水同盟治水大会
8	第35回利根フレッシュタウン納涼盆踊り大会
11	全員協議会
"	平成27年第2回龍ヶ崎地方塵芥処理組合議会臨時会
17	平成27年第2回茨城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
19	平成27年第2回合同定例会（町村長・議長会合同会議）
21	利根町教育研究会・利根町PTA連絡協議会合同夏期研修会
22	第38回利根町民納涼花火大会
26	議会運営委員会
29	四季の丘納涼祭
9月	
1	平成27年第3回定例会本会議（～11日）
18	利根町議会視察研修【美浦村議会傍聴】
23	金刀比羅神社奉納相撲大会
27	利根町制施行60周年記念敬老会
30	平成27年度県南町村会地方行政等視察研修（～10月2日）

## お知らせ

### 町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回の9月定例議会は述べ117の方が傍聴されました。

次回の定例議会は12月8日（火）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

### 町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-7990

発行責任者／利根町議会議長 井原 正光

編集担当／新井 邦弘・坂本 啓次